



# 介護のきほん講座 eラーニング Web研修

## ● サービス形態別 eラーニング介護教材なら

### 法定研修

介護施設での法定研修に対応しています。

### 特定事業所加算

加算を取るための職員毎の研修計画が立てられます。

### 職員の離職防止

職員の介護技術向上を図り、離職防止に役立ちます。

## ● 訪問介護・通所介護・施設介護・居宅支援・障がい者介護の事業所別教材



スマホ・タブレット



パソコン



プロジェクター

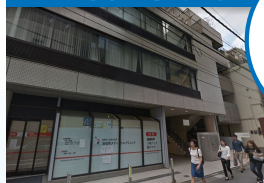


テキスト

スマホ、タブレット、パソコン、プロジェクター、テキストなどあらゆる方法で研修が可能

## ● 利用者の声

### 川崎市A事業所



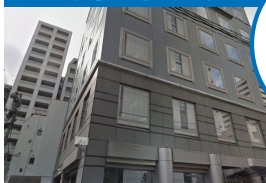
T.Tさん (サ)

### 訪問介護など

川崎市の北部と南部の2箇所に事業所があります。

処遇改善加算金を配布する際に全員一律ではなく、頑張ってる前向きに仕事に取り組んでいる職員を優遇したくて、eラーニングの研修を取り入れました。北部と南部で学習を競争しました。その結果、職員全員の底上げができ、利用者さんからのクレームが減りました。

### 東京H事業所



K.Sさん (事業部長)

### 有料老人ホームなど

幅広く柔軟な人材育成を目指しており、介護の知識だけでなく一般常識のテスト問題も設定しました。特に強制はせず、やる気のある職員に受けてもらい、ポイント制の加点方式としました。ミスによる減点法ではなく、よいことをしたら加点する方法がうまく行き、職員のモチベーションアップにも繋がりました

### 北海道F事業所



Y.Mさん (総務)

### グループホームなど

北海道は広く、移動時間もかかり、集合研修は非効率でした。そこで、「介護のひきだし」を導入し、全施設にネットワークとタブレットを整備しました。タブレットを持ち帰り、自宅で学習している職員もいます。管理者のIDでログインすると職員全員の受講状況を一覧で確認することができるので、研修を管理する私にとっては大助かりです。

教材の詳細は裏面をご覧ください



## チラシ限定企画!

下記項目をご記入頂き、FAXもしくは、QRコード読み込み送信で、介護の基本技術動画を無料でプレゼントいたします

FAXもしくはQRコードから申し込んでください

事業所名

電話

ご担当者名

e-mail



送付先FAX 045-370-4205

info3@aegisc.com

# 介護のきほん講座 Web研修

## 介護のひきだし<有料版>

### 訪問介護

分類	No	タイトル
介護・マネジメント技術	1	入浴介助・清拭・整容
	2	排泄介助
	3	食事介助
	4	移乗・移動介助及び通院・外出介助
	5	生活援助
	6	留意すべき事項がある利用者の料理
安全・衛生管理等	7	感染症の予防とまん延防止
	8	食中毒の予防とまん延防止
	9	事故の発生予防及び再発の防止
	10	事故発生等緊急時の対応
	11	非常災害時対応
	12	口腔ケア
利用者対応・権利擁護	13	金銭管理
	14	鍵の管理
	15	訪問介護員の接遇
	16	相談・苦情・クレーム対応
	17	個人情報保護とプライバシー保護
	18	認知症及び認知症ケア
倫理・法令・その他	19	倫理及び法令遵守
	20	運営基準を理解する
	21	改正「老計第10号」を理解する
	22	訪問介護員の心得
	23	訪問介護員が知っておくべき多職種連携

### 居宅介護支援

分類	No	タイトル
介護・マネジメント技術	1	自立支援と重度化防止
	2	ターミナルケアマネジメント
安全・衛生管理等	3	非常災害時対応
	4	相談・苦情・クレーム対応
利用者対応・権利擁護	5	個人情報保護とプライバシー保護
	6	認知症及び認知症ケア
	7	倫理及び法令遵守
倫理・法令・その他	8	運営基準を理解する
	9	理解しておくべき改正「老計第10号」
	10	介護支援専門員の倫理綱領
	11	介護支援専門員を取り巻く多職種連携

### 障がい者介護

分類	No	タイトル
障がいとは	1	障がいとは
	2	障がい者福祉の考え方
	3	障がい者支援のしくみ
障がい毎の支援	4	障がいのある人の心理
	5	内部障がい①
	6	内部障がい②
	7	重症心身障害
	8	肢体不自由
	9	視覚障がい
	10	聴覚障がい
	11	言語障害
	12	知的障害
	13	精神障害
	14	重複障害
	15	高次脳機能障害
	16	難病
	17	発達障害
地域連携など	18	地域にあるサポート体制
家族との関わり	19	チームアプローチ
	20	家族への支援とは
	21	家族の介護力

### 通所介護

分類	No	タイトル
介護・マネジメント技術	1	入浴介助・清拭・整容
	2	排泄介助
	3	食事介助
	4	移乗・移動介助及び外出介助
	5	自立支援と重度化防止
安全・衛生管理等	6	感染症の予防とまん延防止
	7	食中毒の予防とまん延防止
	8	事故の発生予防及び再発の防止
	9	事故発生等緊急時の対応
	10	非常災害時対応
	11	口腔ケア
利用者対応・権利擁護	12	デイサービスの褥瘡予防
	13	デイサービスの服薬管理
	14	栄養改善マネジメントマニュアル
	15	介護職員の接遇と基本的態度
	16	相談・苦情・クレーム対応
	17	個人情報保護とプライバシー保護
倫理・法令・その他	18	認知症及び認知症ケア
	19	高齢者の理解
	20	身体的拘束等廃止の取組について
	21	高齢者虐待について
	22	倫理及び法令遵守
	23	運営基準を理解する
24	介護職員の心得	
25	通所介護従業者が知っておくべき多職種連携	

### 施設介護

分類	No	タイトル
介護・マネジメント技術	1	入浴介助・清拭・整容
	2	排泄介助
	3	食事介助
	4	移乗・移動介助及び体位変換
	5	ターミナルケア
安全・衛生管理等	6	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止
	7	事故の発生予防及び再発の防止
	8	急変時の対応
	9	非常災害時対応
	10	口腔ケア
	11	貴重品管理(金銭管理)
利用者対応・権利擁護	12	褥瘡予防対策
	13	服薬管理
	14	リスクマネジメントの取組み
	15	介護職員の接遇
	16	認知症及び認知症ケア
	17	高齢者の理解
倫理・法令・その他	18	身体的拘束等廃止の取組について
	19	高齢者虐待について
	20	法令遵守とコンプライアンス

### 居宅介護支援(講義形式)

分類	No	タイトル
介護・マネジメント技術	1	自立支援と重度化防止
	2	ターミナルケアマネジメント
	3	ハラスメント
安全・衛生管理等	4	感染症
	5	虐待防止
利用者対応・権利擁護	6	個人情報保護とプライバシー保護
	7	認知症及び認知症ケア
	8	倫理及び法令遵守
倫理・法令・その他	9	運営基準を理解する
	10	理解しておくべき改正「老計第10号」
	11	介護支援専門員の倫理綱領
	12	介護支援専門員を取り巻く多職種連携

### 通所リハビリ

分類	No	タイトル
高齢者のハンドフットケア	1	リハビリとは?信頼関係を築くために
	2	リフレクソロジーの効果と基礎知識
	3	白癬に対する判断基準と利用者へのシナリオ24
高齢者の栄養管理	4	介護予防と包括的介護予防プログラム
	5	介護予防における栄養の考え方
	6	老化と身体の栄養状況の関係について
高齢者の排泄障害	7	「低栄養」の予防・改善の必要性
	8	「低栄養」予防のための栄養管理
	9	高齢者の排泄障害とは?
高齢者の身体管理	10	排泄障害の Assessment と目標設定
	11	排泄障害の治療と言葉かけ
	12	骨盤底筋トレーニングとセルフケア
高齢者の口腔ケア	13	体の組織と運動による効果
	14	準備体操の行い方と効果
	15	メイン体操と運動の注意点
高齢者の口腔ケア	16	なぜ、口腔ケアが重要なのか?
	17	口腔内の基礎知識
	18	飲み込みの仕組みと全身疾患との関連
	19	口腔内の見方と口腔ケアの方法

## 介護のひきだし<無料版>

### 介護の基本技術

分類	No	タイトル
移動・移乗	1	仰臥位から側臥位への移動介助
	2	水平移動介助
	3	上方移動
	4	車いすの操作方法
	5	車いすの移動
	6	ベッドから車いすへの移乗介助
食事関連	7	杖を使用した平地での歩行介助(片麻痺)
	8	杖を使用した段差での歩行介助(片麻痺)
	9	食事介助(食事準備)
入浴関連	10	食事介助(実食)
	11	食事介助(ベッド上)
	12	一般浴槽への入浴について(入り)
	13	一般浴槽への入浴について(出る)
	14	手浴介助
	15	足浴介助
排泄関連	16	排泄介助(ポータブルトイレ)
	17	おむつの排泄介助(バット交換)
	18	ベッド上で差し込み便器を使用した排泄介助
	19	ベッド上で尿器を使用した排泄介助(女性)
	20	ベッド上で尿器を使用した排泄介助(男性)

## 料金

今まで必要だった初期設定と利用料が無料になりました!

人数	初期設定	利用料	新価格(年間) / 円※ 税別
~10	無料	無料	12,000
~20	無料	無料	18,000
~50	無料	無料	24,000
~100	無料	無料	36,000
~200	無料	無料	60,000

※新価格は、保守料(問い合わせ対応、職員の追加削除対応など)のみの価格です。

オリジナルのオンライン研修受付中

事業所特有の課題にフォーカスした研修を実施できます。

研修を収録してeラーニングで再受講ができます。

「アンガーマネジメントを活用したハラスメント防止」の例です。

